

平成24年度関東倶楽部対抗新潟第1ブロック予選競技 組合わせおよびスタート時間表

(参加者 17倶楽部 ・ 136名)

期日：5月23日(水)

場所：糸魚川カントリークラブ

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	8:00	岡村 勝一	越後	三ヶ月 耕一	イーストヒル	梶沢 潔	グリーンヒル長岡	小林 健治	新潟
2	8:09	加藤 丈明	中峰	梅澤 清行	糸魚川	市川 博司	柏崎	黒井 均	津川
3	8:18	渡辺 正	橿形	中村 猛	大新潟・出雲崎	高橋 正秋	フォレスト	山宮 秀一	湯田上
4	8:27	白 源勇	ヨネックス	福原 政文	十日町	小野塚 司	柏崎黒姫	齋藤 満寿美	新津
5	8:36	横田 雅一	妙高サンシャイン	江口 亨一	越後	清水 正芳	グリーンヒル長岡	古川 博史	中峰
6	8:45	福井 正吾	柏崎	渡辺 和市	橿形	梶原 常生	フォレスト	高橋 弘	ヨネックス
7	8:54	須長 順一	柏崎黒姫	小林 盛世	妙高サンシャイン	小黒 博	イーストヒル	足立 太郎	新潟
8	9:03	原 征夫	糸魚川	青木 正直	津川	渡部 一典	大新潟・出雲崎	浦野 由和	湯田上
9	9:12	福原 晋平	十日町	稲葉 健吉	新津	塩野谷 信吾	越後	霜鳥 薫	新潟
10	9:21	小林 真吉	柏崎	山田 潤造	大新潟・出雲崎	本間 茂樹	ヨネックス	東條 和夫	新津
11	9:30	佐藤 晃	イーストヒル	廣瀬 達郎	中峰	新井 和雄	津川	湯浅 良一	フォレスト
12	9:39	小林 良一	十日町	丸山 悟	妙高サンシャイン	小林 政廣	グリーンヒル長岡	若島 利春	糸魚川
13	9:48	内山 正	橿形	石川 富博	湯田上	横山 真一	柏崎黒姫	栗原 春雄	越後
14	9:57	田淵 章	中峰	大野 紀男	橿形	小川 耕三	ヨネックス	小林 実	妙高サンシャイン
15	10:06	石橋 憲治	イーストヒル	荻原 稔	糸魚川	宇佐美 邦男	大新潟・出雲崎	佐次 富士夫	十日町
16	10:15	増子 喜代秋	グリーンヒル長岡	植木 英雄	柏崎	長谷川 達夫	フォレスト	小川 達栄	柏崎黒姫
17	10:24	土田 一男	新潟	高野 徳衛	津川	斉藤 繁幸	湯田上	石津 二三男	新津

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
18	8:00	八重田 政幸	越後	猪股 充祐	糸魚川	松本 重光	フォレスト	井上 哲也	新津
19	8:09	石川 陽一	イーストヒル	秋山 錦也	柏崎	堀 文明	湯田上	小山 昭男	妙高サンシャイン
20	8:18	萩澤 哲也	グリーンヒル長岡	松原 裕之	津川	白 源正	ヨネックス	棚橋 良文	新潟
21	8:27	工藤 一大	橿形	鈴木 史敏	十日町	坪田 孝文	中峰	大桃 祐介	大新潟・出雲崎
22	8:36	阿部 祐希	柏崎黒姫	大家 賢	越後	山田 直喜	柏崎	古澤 慎一	ヨネックス
23	8:45	加藤 仁	イーストヒル	光根 龍	津川	内山 洋一	十日町	岩坂 聖一	グリーンヒル長岡
24	8:54	池田 正彦	新潟	中村 祐之	柏崎黒姫	須貝 和俊	橿形	長谷川 剛広	大新潟・出雲崎
25	9:03	高橋 誠	新津	小林 常浩	中峰	金田 貴哉	フォレスト	荒川 広司	妙高サンシャイン
26	9:12	古市 衛良	糸魚川	渡辺 翔太	湯田上	星野 均	越後	羽龍 淳	津川
27	9:21	西脇 豊	柏崎黒姫	大瀧 徹也	イーストヒル	斉藤 光浩	橿形	佐藤 光明	新津
28	9:30	外山 政廣	大新潟・出雲崎	高井 保明	グリーンヒル長岡	竹内 政宏	妙高サンシャイン	竹内 邦彦	新潟
29	9:39	吉岡 和晃	フォレスト	丸田 純	中峰	坂田 稔洋	湯田上	岩崎 一	糸魚川
30	9:48	小林 宏幸	ヨネックス	佐藤 伸一	柏崎	石坂 猛	十日町	高橋 晃	越後
31	9:57	狩谷 謙治	津川	坂口 友章	妙高サンシャイン	田口 孝志	イーストヒル	野本 寛	大新潟・出雲崎
32	10:06	小川 博	グリーンヒル長岡	平山 克己	フォレスト	山崎 耕作	新潟	吉原 林	湯田上
33	10:15	幸田 明	中峰	平沢 敏男	ヨネックス	道正 誠二	糸魚川	吉楽 尚生	十日町
34	10:24	中村 直人	柏崎	堀 安男	柏崎黒姫	澤田 宏幸	橿形	萱森 幸栄	新津

競技委員長 豊泉 幸夫

平成 24 年度 関東倶楽部対抗新潟第 1 ブロック予選競技

開 催 日 :平成 24 年 5 月 23 日(水)

開催コース:糸魚川カントリークラブ

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこの競技の条件・ローカルルールを適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定や選手への通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、本競技の条件とローカルルールの違反の罰は、2 打とする。

競 技 の 条 件

1. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

2. 使用球の規格(ゴルフ規則 175 ページ参照)

『公認球リストの条件・規則付 I (c)1b』

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・規則付 I (c)1a』(ゴルフ規則 174 ページ参照)

4. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

5. ホールとホールの間での練習禁止(規則 7-2 注 2)

『規則付 I(c)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 陰悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間に行ったときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格(規則 6-8b 注)

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 :短いサイレンを繰り返して通報する。

陰悪な気象状況による即時中断 :1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 :1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

7. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『規則付 I(c)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)

アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

2. 修理地(規則 25-1)

修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。ただし、次のものを含むスルーザグリーン芝草を短く刈ってある区域(規則 25-2 参照)にある距離計測のための黄色いペイント。ただし、そのペイントがプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は規則 25-1 に基づく障害とはみなされない。球がそのペイントの上にあるか、触れている場合、またはそのペイントが意図するスイング区域の障害となる場合のみ、規則 25-1 に基づいて救済を受けることができる。

3. ウォーターハザード・ラテラルウォーターハザード(規則 26-1)

ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

4. 動かさない障害物(規則 24-2)

- a. 排水溝
- b. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
- c. 5 番ホールグリーン右手前のバンカー内の人工の壁

5. 電磁誘導カート用の 2 本のレール

2 本のレールの全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にある場合、競技者は規則 24-2b(i)の救済を受けなければならない。

6. コースと不可分の部分

樹木に巻きつけたり、密着させてあるもの

7. 1 番ホールと 8 番ホール、2 番ホールと 3 番および 5 番ホール、7 番ホールと 8 番ホール、12 番ホールと 13 番ホールの間にある防球ネットに球が近接しているために、意図するスタンスやスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。

注意事項

1. パッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、競技者は規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。なお、定義外の取り扱いをする場合においては別途、追加のローカルルールを掲示する。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 チーム2カゴ(216 球)を限度とする。

競技委員長 豊泉 幸夫